

東部教育事務所社教便り 『社窓』

熱く！変わろう！安芸地区P連のチャレンジ！！

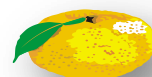
去る1月16日（土）、「第1回 安芸地区PTA連絡協議会主催講演会」が柚子の里・馬路村で開催されました。この講演会は安芸地区市町村PTA連絡協議会（仙頭隆会長）＜以下「安芸地区P連」＞が県教委の「家庭学習推進事業」の委託を受け、その事業の一環として催したものです。

安芸地区P連がこの事業を受けるのは、昨年を引き続いて2年目で、昨年は県教委の配布した「生活リズムチェックカード」の提出を安芸郡市の小・中学校に呼びかけることを通じて、あらためて生活リズムの大切さを児童・生徒や保護者に知ってもらう活動を行いました。今年度は更に活動を効果的に一歩進ませようと、役員会のたびにお互いに意見を出し合いました。その結果、「研修会を大きな会場にたくさんの人を集めて行うのではなく、それぞれ小さなブロックごとに少ない人数で勉強をした方が効果的」という提案に、「集まってもらうというより、こちらが出向くスタイルでは」、「どうせやるなら普段会場にならない市町村がえい」…etc. こうなってきたらそれぞれ熱い思いをもつメンバーは、「講師は？」、「一回目は？」、「あとで、新年会も兼ねたらえいねえ（笑）」ととんとん拍子に話は進んでいきました。



そうして開かれたのがこの講演会ということです。当日は、生活習慣の改善に数年来取り組んでいる室戸市立三高小学校の見津田秀賢教頭を講師に迎え、「生活改善を始めませんか」というテーマでお話をいただきました。生活習慣と学力の関係や実際に成果を上げているある中学校の実践例、家庭で取り組むことなど、先生の熱い思いが伝わる内容で、集まった中芸ブロックPTA約50人のみなさんは時折大きくうなずきながら聞き入っていました。

「自らが出向く」という新しい試みであったため主催した安芸地区P連の役員のメンバーは、「多くの保護者が参加してくれるのか?」、「盛り上がりは?」と心配していましたが、馬路村のPTAの方々を中心に中芸地区から多くの参加を得て、大盛會に終わりました。なお、この試みはその後、1月20日(水)に芸西村で、そして2月3日(水)には東洋町で行われ、馬路村に負けない盛り上がりで予定していた3度の講演会を終えました。ちょっとした発想の転換で安芸地区P連にとっても各地区のPTAのみなさんにとっても大変有意義な研修会になりました。



ちなみに馬路村では、講演会の後、新年會が催され講演会同様、子どもたちの生活リズムについての情報交換が熱く行われ、馬路の夜は更けていきました。参加した一員としては、ちょっぴりメンバーの生活リズムを心配してしまいました。